

第9回
長野県地方自治政策課題研修会

「信州 山の日」の制定について

説明項目

- 1 長野県の「山」の魅力・価値・課題
- 2 「信州 山の日」制定の検討経過
- 3 「信州 山の日」の骨子
- 4 「信州 山の日」制定を契機とした取組
- 5 国民の祝日としての「山の日」の制定

平成26年(2014年)1月17日(金)

森林・林業・林産業活性化議員連盟
観光議員連盟

会長 古田 芙士

山岳環境保全対策議員連盟

会長 宮澤 敏文

長野県独自の「山の日」の制定に向けた検討経過

1 長野県の「山」の魅力・価値・課題

(1) 長野県の「山」の魅力・価値

区 分	内 容
全国第1位	・国土地理院発表の「3,000峰」: 15座(全国: 23座) ・「山と溪谷社」調べ「山小屋数」: 173軒(全国 707件)
全国有数	・森林面積: 106万ha(全国第3位、第1位: 北海道(554万ha)) ・自然公園面積: 28万ha(全国第3位、第1位: 北海道(87万ha)) ・スキー場の数: 77箇所(全国第2位、第1位: 北海道(85箇所))
その他	・日本三大雪渓(剱沢大雪渓、白馬大雪渓、針ノ木大雪渓) ・日本三大美林(青森ヒバ、秋田スギ、木曾ヒノキ)

(2) 長野県の「山」に関する課題等

- ・過去10年間で、「山岳・高原・湖沼」の観光利用者数は約1,100万人余減少
- ・登山道や山小屋トイレは、厳しい立地条件から費用等がかかり整備が進みにくい状況
- ・シカによる被害は農林業にとどまらず、交通事故の多発や高山植物の食害にも拡大
- ・小学校ではスキー教室、中学校では登山学習が盛んだが、内容の拡充が必要

2 「山の日」を巡るこれまでの経過

(1) 県議会の動き

- ・H5. 9月: 国民の祝日として「海の日・山の日」の制定に関する意見書議決
→ 平成7年: 国民の祝日に関する法律改正、「海の日」制定(H8 施行)
- ・H9. 2月: 「森林づくりに県民の意識を向けさせるための県独自の「山の日」の制定」に関する質問 → 知事: 県民気運の醸成が必要と答弁
- ・H25. 2月: 「総合5か年計画の柱の一つである山岳観光の振興等を図るための『山の日』の制定」に関する質問 → 知事: H26 制定に向け具体的に検討と答弁

(2) 県の取組

- ① 平成25年度を期首とする5か年間の総合計画として、「しあわせ信州創造プラン」を策定し、「世界水準の山岳観光地づくり」を推進
- ② 民間との協働による山岳環境保全の取組や山岳遭難防止対策を拡充するとともに、新たな取組として滞在型観光地づくりを推進
- ③ 県民に身近な「里山」の森林整備を集中的に進める「森林づくり県民税」の継続
- ④ 平成28年春の第67回全国植樹祭を開催

(3) 都道府県独自の制定の状況(H25. 4. 1 現在)

区分	「山の日」等を制定(()数値: 月間等の併設)			「山」や「森」に関する月間等を設定	なし
	山の日	森の日			
府県	26	13 (3)	13 (2)	5	16

- ・山梨県・岐阜県: 8月8日(「八・八」山並みに見立て、夏休み期間)
- ・静岡県: 2月23日「富士山の日」(ふ(2)、じ(2)、さん(3)の語呂合わせ)
- ・奈良県: 7月第3月曜日「奈良県山の日・川の日」(「海の日」に重ね合わせ)

3 長野県の「山の日」(仮称)の制定に向けた検討行程

- ① 県政モニターによる県民意識調査の実施(H25. 4)
- ② 長野県「山の日」懇話会を開催(H25. 6. 5)し、制定趣旨・期日に関する議論
- ③ 第2回懇話会(H25. 8. 1)で「山の日」を契機とした取組に関する議論
- ④ 懇話会から知事に意見書を手交(H25. 9. 3)
- ⑤ 長野県の「山」を考えるシンポジウムの開催(H25. 9. 7)
- ⑥ 県の考え方を公表(H25. 9. 19)し、県民、市町村等への意見聴取(H25. 10~11)
- ⑦ 県議会主催の「地方自治政策課題研修会」において市町村議会等に説明(H26. 1. 17)

「信州 山の日」 制定スケジュール

区分	H25									H26							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
県議会			6月議会			9月議会		11月議会		地方自治政策 課題研修会 (1/17)	2月議会				6月議会		
県			議連勉強会			議連勉強会	県の考え方 公表(9/19)			制定 骨子 公表	市町村への 取組照会			「山」関連の取組 情報発信		「信州 山の日」 (7/27)	「信州 山の月間」 (7/15~8/14)
庁内 連絡 会議等		第1回 (5/9)				第2回 (9/20)					第3回						
調査等	県政モニター	分析	結果公表				県民意見募集 (10.11~11.8)				県民 意見 公表						
長野県 「山の日」 懇話会			第1回 (6/5)		第2回 (8/1)	意見書 手交 (9/3)								(情報発信協力)		(式典 協力)	
行事					シンポジウム の開催(9/7)												記念 式典
予算等							予算要求				予算案公表		予算決定				
市町村							説明・意見照会				市町村への 取組照会			「山」関連の取組 情報発信			※ 独自の「山」関連 の取組の推進(必要 に応じて県行事との 連携)
関係 団体等					シンポジウム参加		(意見収集)							「山」関連の取組 情報発信			
その他					隣県との 意見交換												(取組連携)

「信州 山の日」の制定について

1 制定の趣旨

長野県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくため、「山」を守り育てながら活かしていく機運の醸成の機会として、長野県独自の「山の日」を定め、平成26年度から施行する。

※ 定義 山：3,000m級の山岳・高山から身近な里山までの全てを対象とする。

2 名 称

「信州 山の日」

○ 「信州」とする理由

- ・県内外を問わず、子どもからお年寄りまで幅広く親しまれる日とするため
- ・「山の日」の制定により、県民等の責務や制限、行政処分等の行為が発生するものではないため「長野県」という特定の行政区域を示す呼称ではなく、「県民等の意識の高揚や機運の醸成」を目的に、歴史、風土、文化、環境、教育、経済、観光、産業、地域社会、健康、精神性等、様々な分野における「山」の価値や課題等を包含し、「山」を総体として捉えていくため

○ 表記方法

「信州」は漢字表記とし、「しんしゅう」と読み、「信州」と「山の日」の間に空白(半角)を設ける。

3 期 日

「信州 山の日」：7月第4日曜日

- ・登山を始めとする様々な野外活動が活発に行われるため、3,000m級の高山地帯から身近な里山まで幅広く参加することが可能な季節(7月から9月)で、天候の安定する時期(梅雨明け)であること
- ・次代を担う子ども達が「山」に触れ、親しみを持つため、様々な行事等に参加することが可能な休日(概ね夏休みに入る時期)であること

「信州 山の月間」：7月15日から8月14日まで(1ヶ月間)

- ・南北に長く、標高差のある本県の地域性等を踏まえ、「信州 山の日」を含む期間を月間として設定し、各種行事や情報発信等を集中的に実施する。

4 「山の日」を契機とした取組

「山の恵み」に関し、「親しむ・学ぶ・守る」という3つの視点に立って、今後、以下に掲げるような取組を部局連携により推進していく。

- ・県による「山の日」の意義を広く周知するための核となる行事の開催
- ・県内各地において地域が自発的に活動し、機運の醸成を図る取組
- ・市町村、民間団体、企業、県民等と協力・連携した取組の推進

※ 県内各地で行われる様々な取組を、県、市町村、関係団体、企業、県民等の連携により集約し、一元的に情報発信する仕組みを構築

国民の祝日としての「山の日」（仮称）の制定を巡る情勢等

1 県議会の取組

- ・平成5年：県議会において「海の日・山の日の制定」に関する意見書議決
- ・平成7年：国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)改正、翌年施行
- ・平成15年：県議会から国に「海の日・山の日」制定の意見書を提出
- ・平成19年：長野県山岳環境保全対策議員連盟が国に要請
- ・平成23年：森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議が国に要請
- ・平成24年：県議会から国に「山の日」制定の意見書を提出

関東甲信越1都9県議会議長会(長野県議会提案)が国に要請

2 全国知事会及び県の動き

- ・平成24年：知事による国への要請(農林水産省、観光庁)
- ・平成25年：関東地方知事会及び中部圏知事会議から国に対し要請
- ・平成25年：知事と市町村長とが共同で、国に対して要請

3 国の動き

- ・平成25年4月10日に超党派の国会議員による「山の日」制定議員連盟発足。
- ・環境省、観光庁、林野庁等から「山」に関する課題等のヒアリングを実施。
- ・長野県及び大分県で現地研修会を開催。
- ・平成25年11月に開催された第13回総会で、「8月11日」を候補日とすることを表明。
- ・平成26年通常国会で議員立法として「国民の祝日に関する法律」の改正法案を提出するとのこと。

4 「山の日」制定協議会の活動

- ・平成22年4月に全国組織の山岳5団体により設立。
- ・平成24年6月に国際山岳年プラス10シンポジウムにおいて、6月第1日曜日を「山の日」とすることを提案。
- ・平成24年10月には「「山の日」ネットワーク東京会議」を開催(知事出席)。
- ・平成24年11月には、松本市が主催した「山岳フォーラム」において、当該協議会から「山の日」制定のPRを実施。
- ・平成24年10月31日付けで発展的解散。
- ・平成25年11月に日本山岳ガイド協会が中心となり、新たに全国横断的な産学官の連携組織としての協議会を設立し、「国民運動」を盛り上げる役割を担当(長野県から川上村長、知事が発起人として参画)。

5 市町村による取組

- ・松本市では、『岳都・松本「山岳フォーラム」』(H23.11月、H24.11月(知事出席)、H25.11月)を開催し、全国の「山の日」(仮称)の制定に向けた取組を推進。
- ・長野県市長会から、平成25年度県政要望の一つとして、全国統一の「山の日」(仮称)の制定に向けて、県も積極的に取り組むよう要望。

都道府県における「山」・「森」等に関する記念日等の設置状況

番号	日程等	都道府県	名称	日付等設定根拠	
				月間併設	
1	4月29日	島根	森の誕生日		「ふるさと森林公園」(松江市宍道町)開設日(全国初)
2	5月18日	千葉	里山の日		第54回全国植樹祭(H15.5.18)
3	6月第1土曜日	山形	やまがた森の日		第53回全国植樹祭(H14.6.2)
4	6月第1日曜日	福井	福井県森づくりの日		第60回全国植樹祭(H21.6.7)
5	6月第1日曜日	広島	ひろしま「山の日」		若葉の季節
6	7月第3月曜日	奈良	奈良県山の日・川の日		国民の祝日「海の日」を選定(海なし県)
7	8月8日	山梨	やまなし山の日		夏休み、「山」の形と「八」の似合せ、国民の祝日のない月
8	8月8日	岐阜	ぎふ山の日、ぎふの山に親しむ月間	8月	夏休み、「山」の形と「八」の似合せ、国民の祝日のない月
9	10月1日	滋賀	びわ湖水源のもりの日、びわ湖水源のもりづくり月間	10月	イベントが開催しやすい時期
10	10月第1日曜日	群馬	ぐんま山の日、ぐんま山と森の月間	10月	第34回全国育樹祭(H22.10.3)
11	10月16日	栃木	元気な森づくりの日		「とちぎの元気な森づくり県民会議」設立日
12	10月最終日曜日	兵庫	ひょうご森の日		第29回全国育樹祭(H17.10.30)
13	11月7日	和歌山	紀州・山の日		「山祭り」(旧暦の11月7日前後)に準拠
14	11月11日	香川	かがわ山の日		「四国山の日」(4県が持ち回りで開催)として制定 木が4本並んでいるイメージ 間伐などの森林整備が本格化する時期
15	11月11日	愛媛	えひめ山の日		
16	11月11日	高知	こうち山の日		
17	11月11日	徳島	四国山の日		(県独自の設定はなく、四国山の日を共同主催)
18	11月第2土曜日	大阪	おおさか「山の日」、山に親しむ推進月間	11月	野外活動が行いやすい時期
19	11月第2日曜日	九州	九州森林(もり)の日	(宮崎:10・11月)	九州森林管理局との協定(福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島)
25	11月第2日曜日	熊本	くまもと森林づくり活動の日(九州森林(もり)の日)		九州森林(もり)の日に準拠
26	2月23日	静岡	富士山の日		2(ふ)2(じ)3(さん)の語呂合せ
27	7月	秋田	水と緑の月間		
28	10月	石川	いしかわの森づくり推進月間		
29	10月	三重	三重の森林づくり月間		
30	10月	鳥取	とっとり森林月間		10月8日の「木の日」に準拠
31	10月	長野	ふるさとの森林づくり県民運動推進強調月間		

第9回 長野県地方自治政策課題研修会

長野県議会議員研修会実行委員会

「信州 山の日」の制定

平成26年(2014年)1月17日(金)

森林・林業・林産業活性化議員連盟
観光議員連盟

会長 古田 芙士

山岳環境保全対策議員連盟

会長 宮澤 敏文



- ① 長野県の「山」の魅力・価値・課題
- ② 「信州 山の日」制定の検討経過
- ③ 「信州 山の日」の骨子
- ④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組
- ⑤ 国民の祝日としての「山の日」の制定



① 長野県の「山」の魅力・価値・課題

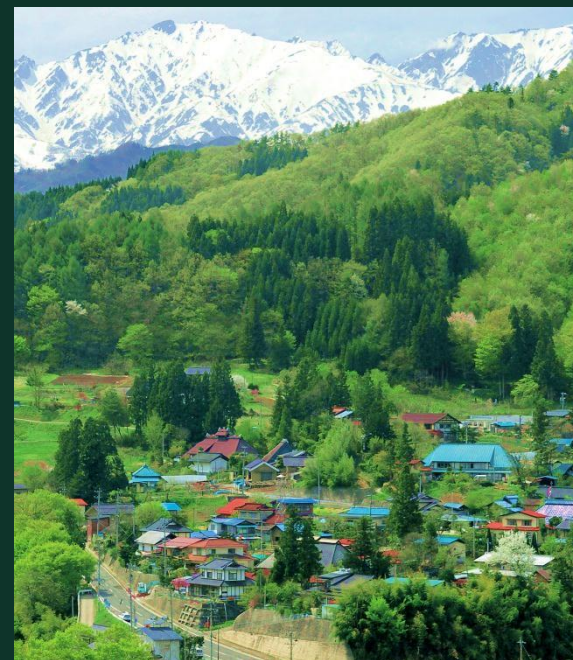
全国有数の「森林県」・「山岳県」

森林面積：106万ha
全国第3位

日本三大美林：木曽ヒノキ
秋田スギ
青森ヒバ

高い山10傑：奥穂高岳(3,190m：第3位)
など6座 全国第1位

3,000m級の山岳：全国23座中15座 全国第1位



① 長野県の「山」の魅力・価値・課題

「山の恵み」：水

千曲川(信濃川)、木曾川、姫川、富士川など、数多くの河川の源流が存在

「山の恵み」：多様な生き物

国内に生育する植物(約7,000種)の4割強(3,257種)が県内に生育

「山の恵み」：季節を彩る特用林産物

マツタケ生産量(85.1 t) 全国第1位

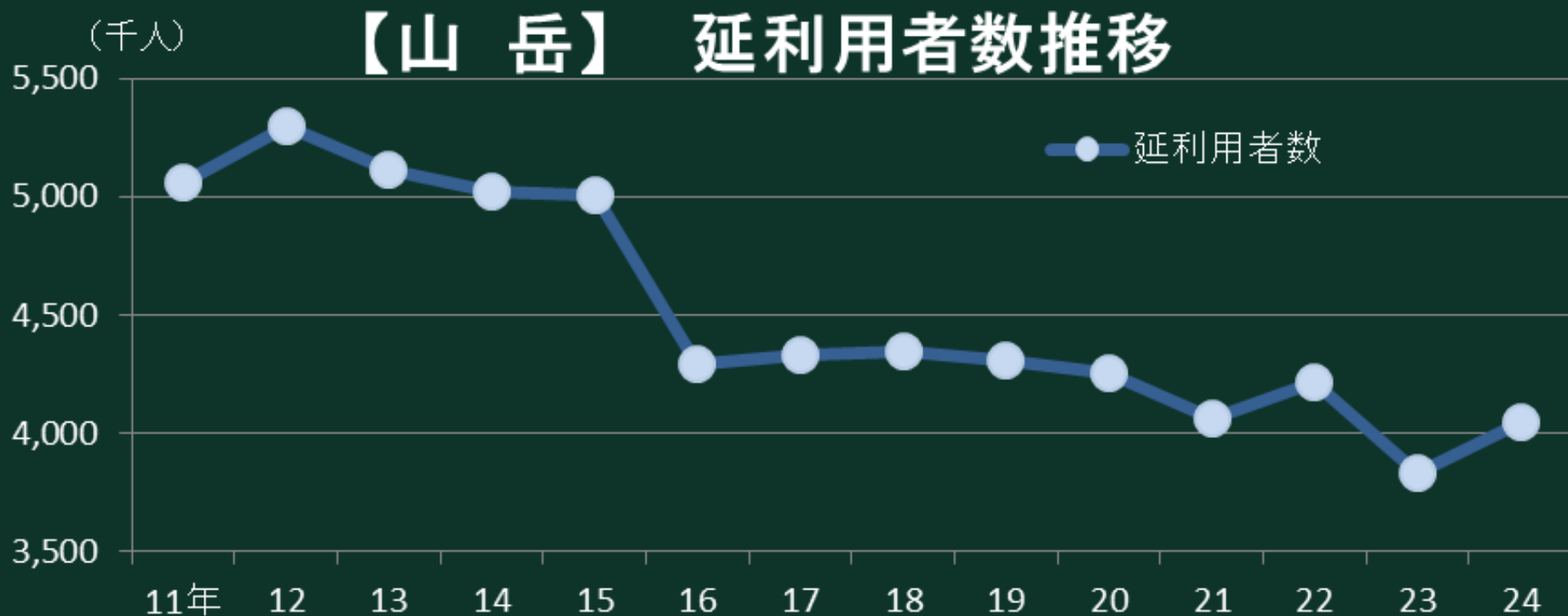
「山の恵み」：温泉 箇所数(230箇所) 全国第2位

☆ 「山」の魅力・価値は、
県民共通の財産・貴重な資源



① 長野県の「山」の魅力・価値・課題

- 本県の「山岳」に訪れる観光利用者は約4百万人
- 近年は微増だが、ピーク時には約5百万人

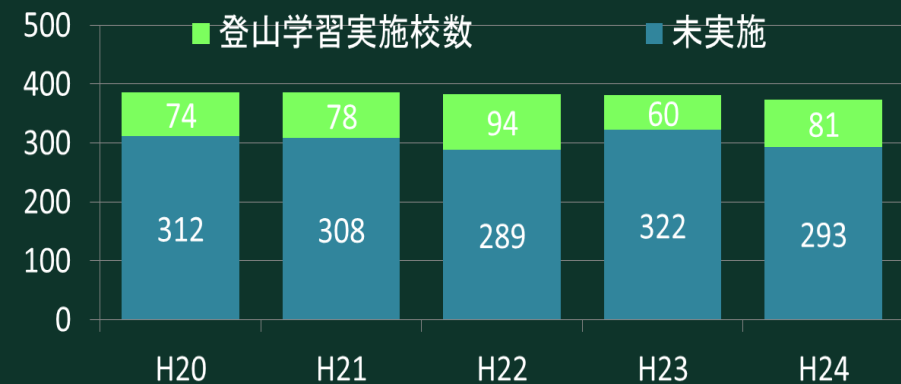


☆ 地域活性化のため 観光利用者の増が課題

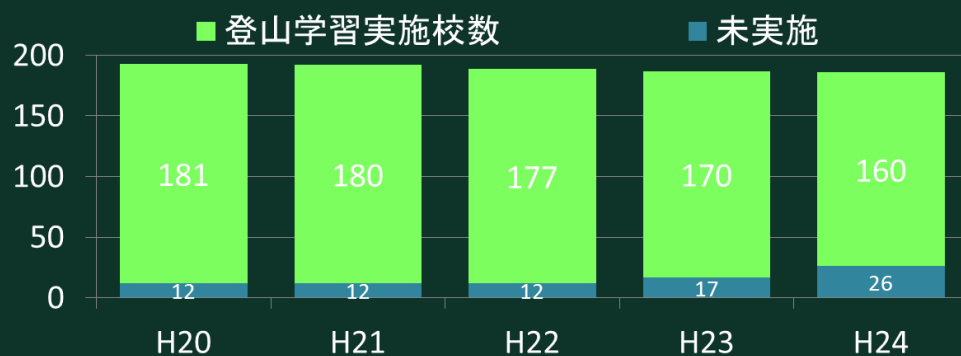
① 長野県の「山」の魅力・価値・課題

- 小学校の約7割は未実施だが、微増している状況
- 中学校の約9割は実施しているが、減少傾向

小学校の登山学習の実施状況



中学校の登山学習の実施状況



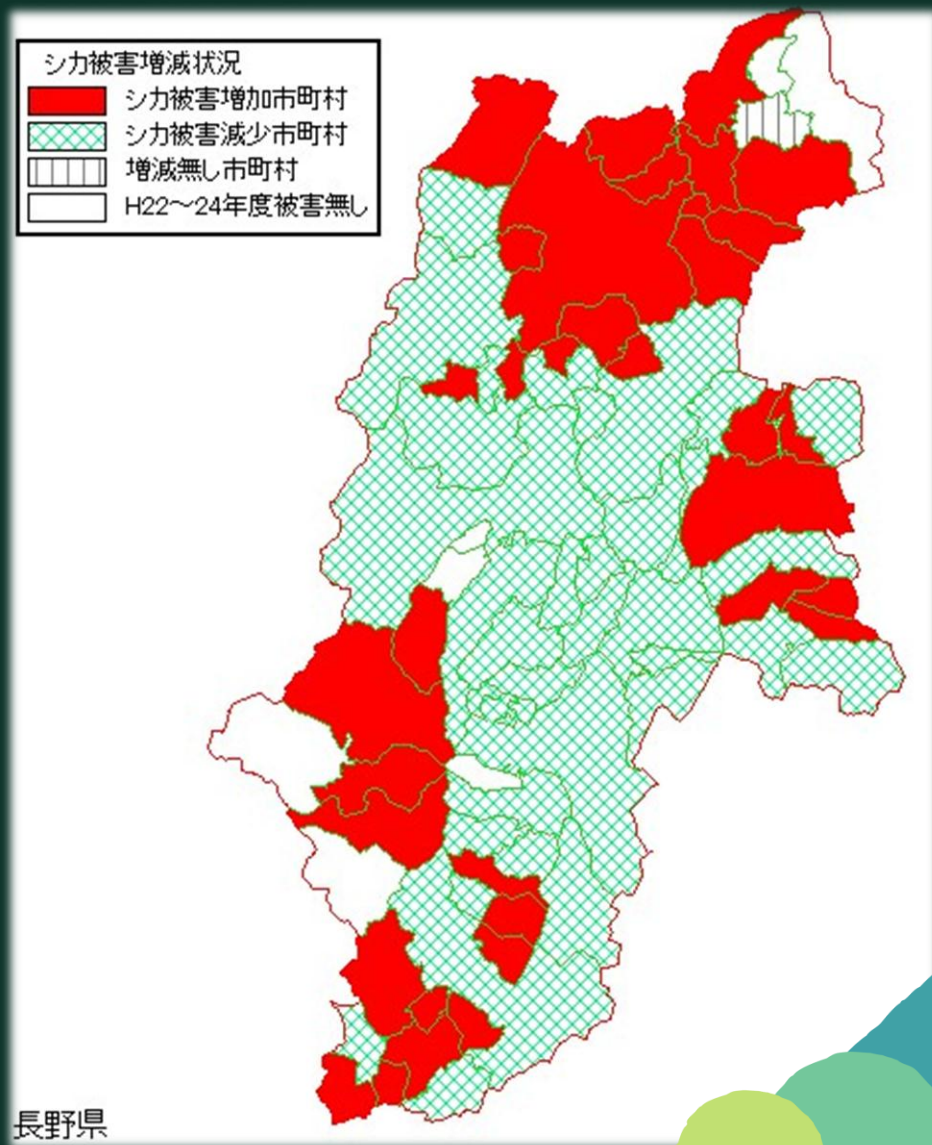
☆ 「山」の魅力や価値を次代へと引き継いでいくためには、子どもたちが「山」に親しみ、学ぶ機会の充実が必要

① 長野県の「山」の魅力・価値・課題

○ 野生鳥獣による農林業被害は依然として深刻な状況

○ 被害地域は拡大しており、高山植物の食害も顕在化

☆ 農林業だけでなく、山岳関係者や地域住民などが協力して考え、行動することが必要



① 長野県の「山」の魅力・価値・課題

まとめ

- ☆ 長野県の「山」の魅力・価値は県民共通の財産・貴重な資源
- ☆ 様々な「山の恵み」を守り育てながら持続的に活かしていくことが必要
- ☆ 希薄になりがちな「山」との関係を改めて考えるための「機会」が必要



★ 県独自の「山の日」の制定に向けた検討を開始

② 「信州 山の日」制定の検討経過

(1) 県政モニターによるアンケート調査(H25.4月)

県政モニター：1,220人のうち 851人が回答

☆ 「山」に対するイメージ

- ・ 「清浄な空気や水を育む場」が約8割
- ・ 続いて「スポーツの場」・「美しい景観」などの観光面

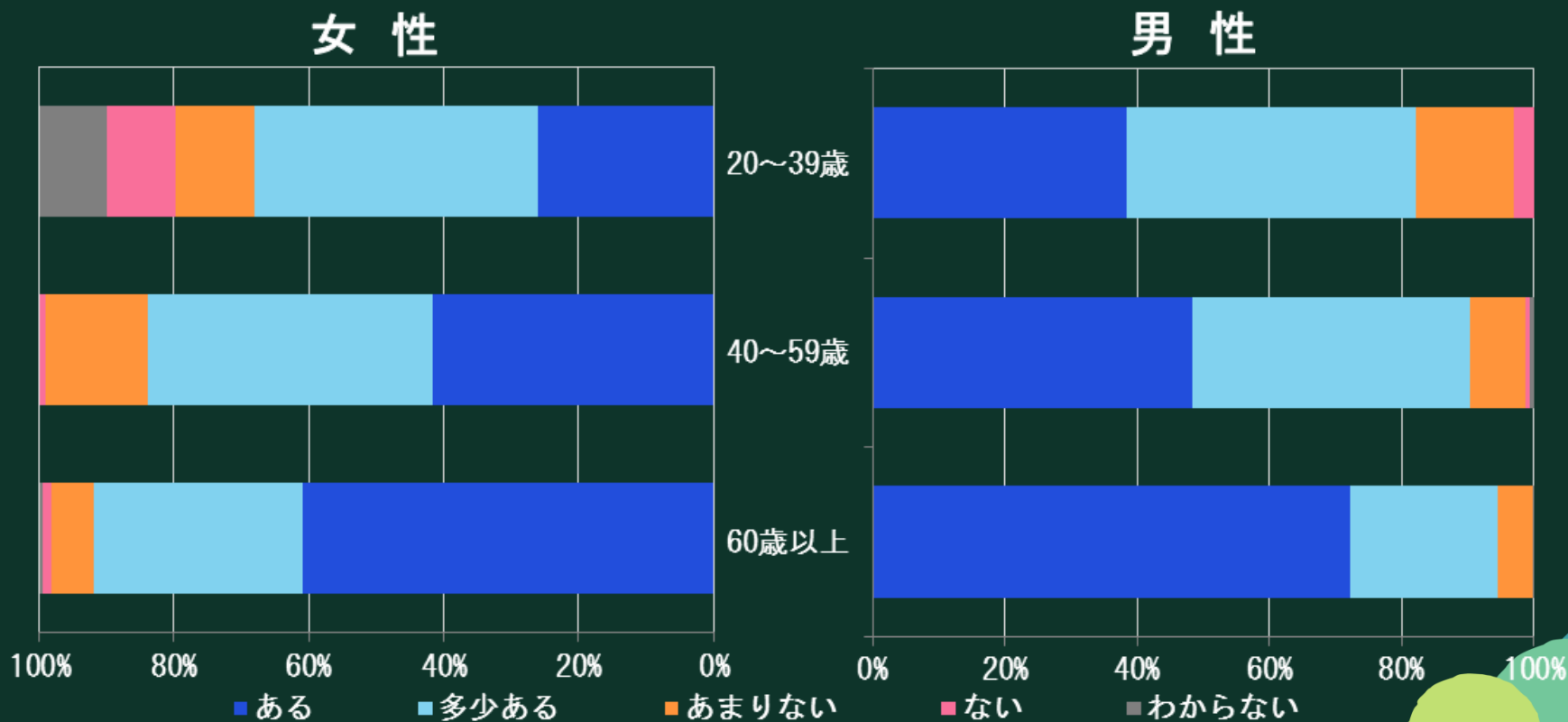


② 「信州 山の日」制定の検討経過

(1) 県政モニターによるアンケート調査(H25.4月)

☆ 「山」への関心

- ・全体として関心はあるが、20～30歳代や女性の関心を高めていくことが課題。

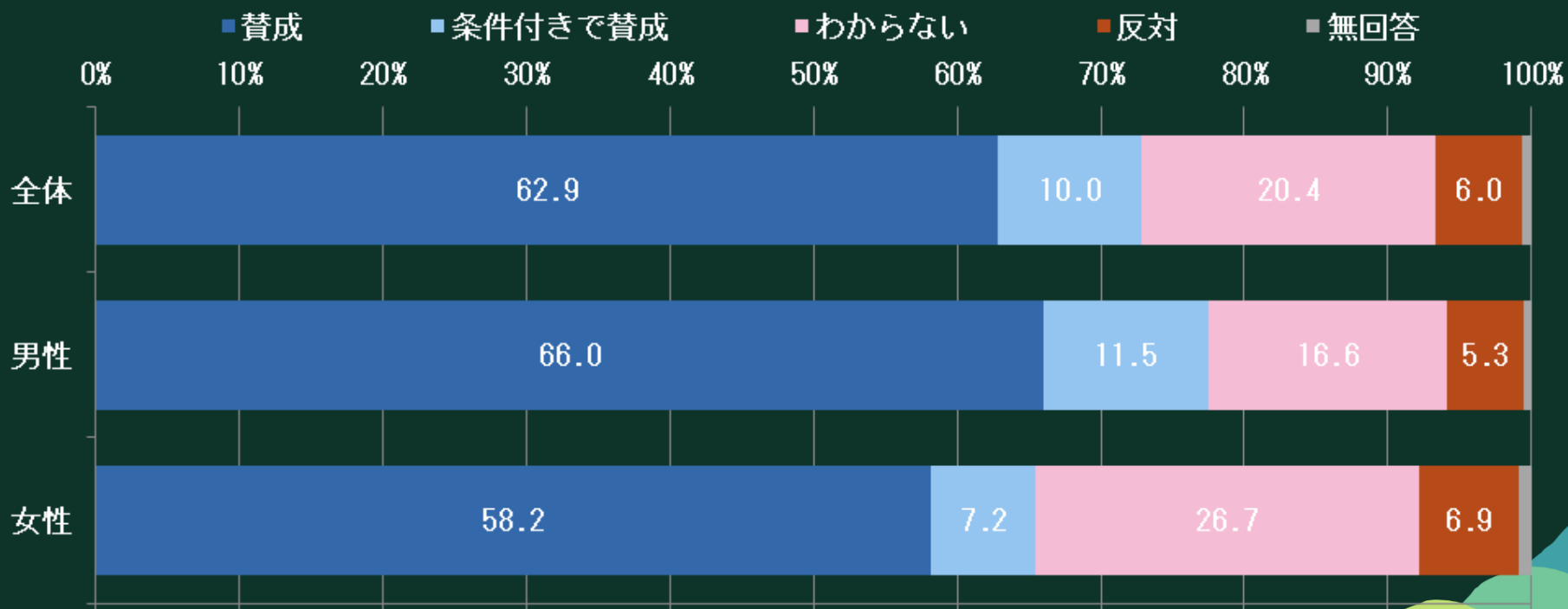


② 「信州 山の日」制定の検討経過

(1) 県政モニターによるアンケート調査(H25.4月)

☆ 長野県独自の「山の日」の制定に対する賛否

- ・約7割の方が「賛成」・「条件付き賛成」
- ・「わからない」と回答した方の多くが「制定の理由を明確にすべき」との意見



② 「信州 山の日」制定の検討経過

(2) 長野県「山の日」懇話会の開催(H25.6~9月)

山岳・環境・観光・林業・教育・経済等の有識者：20名により、制定の趣旨、名称、期日及び取組について検討し、意見書を知事に提出

☆ 意見書の概要

・ 制定の趣旨

「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくための機運の醸成の機会

・ 期日

7月下旬から8月上旬

・ 名称

「信州(しんしゅう)山の日」

・ 取組

「山の日」の意義を広く周知するための核となる県行事の開催
「山の恵み」に関し、「親しむ・学ぶ・守る」取組の実施
市町村、団体、県民等の参加・協力の推進



② 「信州 山の日」制定の検討経過

(3) 長野県の「山」を考えるシンポジウムの開催

9月7日(土)に大町市文化会館で約400名の参加者と学識経験者、団体等の有識者、知事をまじえ、「山」の魅力や未来について意見交換を実施



③ 「信州 山の日」の骨子

県議会9月定例会冒頭の知事提案説明で、県の考え方を公表

☆ 県独自の「山の日」に関する
県の考え方

○ 制定の趣旨

県民共通の財産であり、
貴重な資源である

「山」に感謝し、
「山の恵み」を
将来にわたり持続的に享受していくため、
「山」を守り育てながら活かしていく
機運の醸成の機会として定める。



③ 「信州 山の日」の骨子

☆ 県独自の「山の日」に関する 県の考え方

○ 期日 7月第4日曜日

- [理由]
- ・ 山岳から里山まで幅広く活動できる季節(7~9月)
 - ・ 天候の安定する時期(平年の梅雨明け:7月18~19日)
 - ・ 次代を担う子どもたちが活動しやすい休日

※ 「信州 山の月間」の設定:7月15日から8月14日まで

○ 名称 「信州 山の日」

- [理由] ・ 広く県内外の方に親しみやすいもの



③ 「信州 山の日」の骨子

検討状況及び今後の進め方

- ☆ 県議会への説明：H25.9.19 森林・林業・林産業活性化議員連盟、観光議員連盟、山岳環境保全対策議員連盟の合同勉強会を開催し、県の考え方を説明
- ☆ 県議会一般質問：H25.9.25 古田美士県議会議員から、「『信州 山の日』が県民に定着・浸透するよう、しっかりと取り組んで欲しい」との質問に、知事から「平成26年度に向け部局連携で取り組んでいく。」との答弁
- ☆ 県民意見の募集：H25.10～11月 「学校登山の充実」、「健全な森林づくり」、「山岳環境の保全」等の具体的な取組に関する意見・提案が多数(意見件数：40件)
- ☆ 市町村への説明：H25.10～11月 県市長会・県町村会並びに各地域の広域連合の皆様のご協力をいただき、全市町村に説明
- ☆ 今後の進め方：県民・市町村の意見等を踏まえ、本日の研修会等を経て、制定の骨子を公表する予定

③ 「信州 山の日」の骨子

森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・
長野県連絡会議から
知事への要請

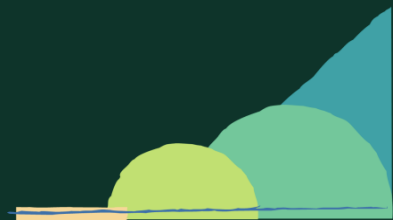
日 時	平成25年9月27日(金)
場 所	県庁3階第三応接室
要 請 者	古田芙士会長、服部宏昭副会長、高橋宏幹事長
要 請 先	阿部守一長野県知事、塩入茂林務部長
要請項目	「本県独自の『山の日』の制定について」
要請内容	県においては、県民全体が、本県の「山」を見つめ直し、「山の恵み」に感謝するとともに、「山」に親しむ機会として、県民総意のもとに、本県独自の「山の日」(仮称)を制定するよう強く要望する。

「信州 山の日」の制定

「信州 山の日」の制定

7月第4日曜日

「信州 山の月間」：7月15日～8月14日



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

- 長野県「山の日」懇話会からの提案 等
 - 体力や年齢等に応じた登山コース等の設定
 - 登山道の整備
 - 学校登山の推進
 - 山菜・ジビエ・薬草などの「四季を味わう」取組
 - 「信州 山の日学校」の開校
 - 都市部の人達や企業の参加による森林整備等
 - 「山」に携わる功労者の表彰
 - 都市部等への野生鳥獣被害の情報発信
 - 「山の日之歌」や「山の日にピークに立つ行動」など。



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

○ 市町村独自の取組

☆ 松川村

平成23年12月に市町村として初となる「安曇野松川山の日」を制定し、毎年「5月第3土曜日」に馬羅尾高原の「あがりこサワラ群落」をシンボルとして、植樹祭や森林体験活動等を行っている。



☆ 大町市

大町山岳博物館の50周年記念にあたる平成14年に「山岳文化都市宣言」を行い、自然と人との共生による山岳文化の発展と創造を目指した市政を展開している。

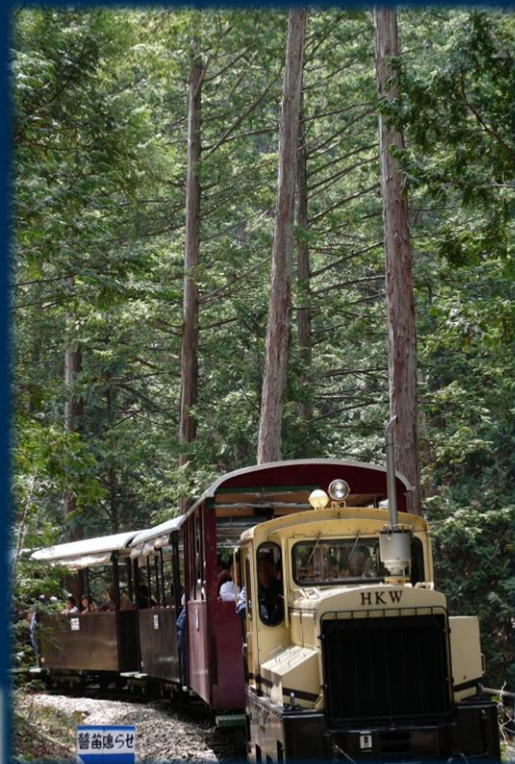
☆ 松本市

全国統一の「山の日」の制定に向け、毎年11月に「岳都・松本 山岳フォーラム」を開催している。

④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

I 「山の恵み」に親しむ

県民・県内外から訪れる方々への「山」の魅力・価値・課題等の情報発信と、誰もが参加できる取組の推進が必要



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

Ⅱ 「山の恵み」に学ぶ

子どもたちが「山」に直接触れる機会として「学校登山」を推進するとともに「山」の歴史・文化などの様々な面の学習機会の充実が必要



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

Ⅲ 「山の恵み」を守る

県民、都市部の住民、企業等の様々な主体の参加・連携による登山道整備や希少な野生動植物の保護などの環境保全活動等の展開が必要



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

Ⅲ 「山の恵み」を守る



森林づくり県民税を活用し、県民の暮らしに身近な「里山」の森林づくりを推進するとともに、様々な主体の参加と協力による、豊かな森林を支えるための地域づくりが必要。



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

Ⅲ 「山の恵み」を守る

地域社会の存続に大きな影響を与えている野生鳥獣被害に対し、市町村や猟友会と協力・連携し、捕獲対策、防除対策、担い手対策等を総合的に実施することが必要



④ 「信州 山の日」制定を契機とした取組

☆ 「山」に関連した取組推進のポイント

I 県による「山」に関連する情報の発信

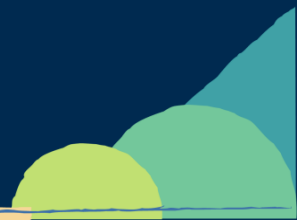
県・市町村・団体・企業等が取り組む、「山」に関連した様々な取組を一元的に情報発信

II 市町村・団体・企業・県民等との連携

「山」に対する県民等の関心を高めるため、市町村等の独自の取組を尊重しつつ、県と連携した取組を推進

併せて、県民等の自発的な参加・協力を促進

☆ 平成26年度から取組をさらに推進



⑤ 国民の祝日としての「山の日」の制定

県議会から国への要請等

- 平成5年9月県議会において「海の日・山の日」制定に関する意見書議決
- 平成15年12月県議会において「海の日・山の日」制定に関する意見書議決
- 平成19年2月、「山岳環境保全対策議員連盟」要請
- 平成24年1月、「森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・長野県連絡会議」要請(H25.1月、11月)
- 平成24年2月県議会において「山の日」制定に関する意見書議決
- 平成24年5月、「関東甲信越1都9県議会議長会」要請

⑤ 国民の祝日としての「山の日」の制定

○ 国の動き

☆ 超党派「山の日」国会議員連盟

- 平成25年(2013年)4月発足。
- 「8月11日」を候補日として公表。
- 平成26年通常国会に議員立法として関連法案を提出するとの意向を示している状況。



☆ 全国「山の日」制定協議会

- 平成25年(2013年)11月設立。
- 本県から川上村長及び長野県知事が発起人として参画。
- 国会議員連盟と、「車の両輪」のような関係で、具体的な検討を行うとともに、「国民運動を盛り上げていく」役割

⑤ 国民の祝日としての「山の日」の制定

○ 県独自の「山の日」と「国民の祝日」としての「山の日」が異なった場合

- ・ 県独自の「山の日」の期日の選定にあたっては、本県の「山」のベストシーズンとして選定
- ・ 国民の祝日としての「山の日」は国民全員が共有することのできる期日として検討される予定。
- ・ 既に、26府県で地域独自の「山の日」が制定され、様々な取組が行われている状況。

☆ 県と国の「山の日」が異なったとしても、それぞれの設立の意義が損なわれるものではなく、むしろ、相乗的に「山」に対する国民の関心を高めていくことが重要。

結 び

信州には 実に豊かな「山」がある
清らかな水に満ち 深い森に溢れている
真っ青な空を貫く日もあれば
赤に黄に彩る日も 真っ白に凜と立つ日もある
私たちは 「山」 に守られ 学び 暮らしている
「信州 山の日」 に伝えよう
今ふたたび 皆の感謝の気持ちを
目指そう 「山」と「人」との共生・共存を
そして、つなごう 「山の未来」を子どもたちに
信州は 「山日和」 です

御静聴 ありがとうございました。